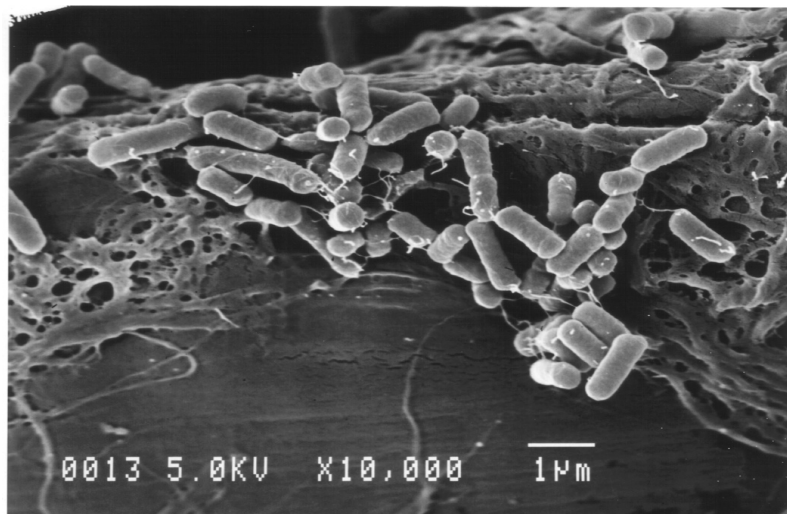


## 農産物の安全性確認を迅速に実施

### 「カイワレ大根はシロ」

平成8年に我が国で人命に重大な影響を及ぼした病原性大腸菌（O-157）と市販のカイワレ大根との関係を迅速に検証し、O-157のカイワレ大根体内への移行は認められないことを実証した。これによりカイワレ大根の安全性が証明された。

### 食品の安全性検証は迅速性・中立性が求められる



病原性大腸菌O-157

食品総合研究所は、農産物・食品の安全性を検証し、迅速に公表することを社会的責務としている。病原性大腸菌（O-157）の感染による被害が発生した際に、感染経路として、市販のカイワレ大根との関係が取りざたされたが、食品総合研究所は迅速かつ連続的な検証実験を行い、カイワレ大根へのO-157の移行は認められないことを証明した。

## 国際研究の場面で業務が遅滞なく実施される必要性



- 1 ジーンバンク事業のサブバンクとして熱帯果樹（200本）、パイナップル（12種、2700本）、サトウキビ（188系統、464近縁種）等、貴重な遺伝資源の保存に支障
- 2 開発途上地域の限界環境下でも生育する作物の開発が、実験系統の枯死により中断される
- 3 共同研究協定書（MOU）に基づく国際研究機関等との共同研究が中断される（国際的な約束事の不履行）
- 4 国際農林水産業研究センターの共同研究パートナーは相手国の国家公務員や国際公務員であり、国際共同研究のスムーズな実施には対等の身分が必要
- 5 国際共同研究推進のための諸手続（ビザ、機材搬入等）の円滑な実施に支障



厳しい環境での試験研究



熱帯途上地域における共同研究